

外科

診療科の概要

当科では、一般外科疾患、消化器外科疾患、乳腺疾患を診療しており、救急疾患に対する緊急手術にも対応しています。

主な良性疾患としては、腸閉塞症、鼠径ヘルニア、急性虫垂炎、胆嚢結石症、肛門疾患などの診療を行っています。悪性疾患では、甲状腺癌、乳癌、胃癌、肝癌、胆道癌、膵癌、大腸癌の手術治療を行っています。

領域ごとに担当医を配置し、治療ガイドラインに準じた治療を提供できるように努めており、悪性疾患に関しては術前、術後に化学療法も併せて施行し、集学的な治療をお勧めしています。



	午前 8:00~ 11:30	午後
月	中井(上部) 神(下部)	
火	加藤(下部) 川嶋(乳)	
水	豊木(肝胆膵) 川嶋(乳)	
木	中井(上部) 豊木(肝胆膵)	
金	加藤(下部) 神(下部)	

外科へのご紹介は

※鼠径ヘルニア等の
その他の疾患は随時受付

新着任医師のご紹介

かとう まさし
部長 加藤 雅志

資格
・日本外科学会認定医/外科専門医
・日本消化器外科学会消化器外科専門医
/消化器がん外科

・医学博士
専門分野
下部消化管疾患 (大腸・肛門疾患)

あかいし たかのぶ
部長 赤石 隆信

資格
・日本外科学会外科専門医
専門分野
外科一般

うちだ ちあき
部長 内田 知頭

資格
・日本外科学会外科専門医
・日本消化器外科学会消化器外科専門医
・消化器がん外科
専門分野
外科一般

はら ゆうたろう
副部長 原 裕太郎

資格
・日本外科学会外科専門医
・日本消化器外科学会消化器外科専門医
・消化器がん外科
専門分野
外科一般

うらた ふう
医師 浦田 風

専門分野
外科一般

ご連絡はこちらへ
(地域医療連携室)

☎ 017-734-2171 (内線7124・5110)

☎ 017-734-2177

✉ a-shimin-renkei@aomori-city-hospital.jp

下部消化管の 取り組み

腹腔鏡下大腸癌手術の
標準治療化に努めてまいります



腹腔鏡下大腸癌手術

大腸癌の手術治療は全国的に開腹手術から鏡視下手術(腹腔鏡、ロボット)へ移行しており、多い施設では症例の80-90%に対して、鏡視下手術が行われています。当院でも2010年代前半から導入をしましたが、2017年より症例数が増えてきています。2022年度は約80%の症例に対して腹腔鏡手術での治療を行っています。

腹腔鏡手術のメリットとしては、出血量の減少、手術層の縮小による術後疼痛の減少および早期離床、術中不感蒸泄の減少による術後全身管理の安定化などがあります。現在当科では全身状態が許す限り、腹腔鏡による大腸癌治療を第一選択としております。



急性虫垂炎治療

開業医の先生方よりご紹介いただく疾患の中で多いのが、急性虫垂炎です。当科では保存的治療を行い軽快したのちに、待機的手術での虫垂切除を行っています。炎症が落ち着いた状態で原因である虫垂を腹腔鏡手術にて切除します。創部が目立たなくなる利点があります。さらに今年度からは単孔式腹腔鏡下虫垂切除術を基本術式として行っており、臍部の手術創のみで手術が終了する症例が増え、術後の整容性向上が期待されます。

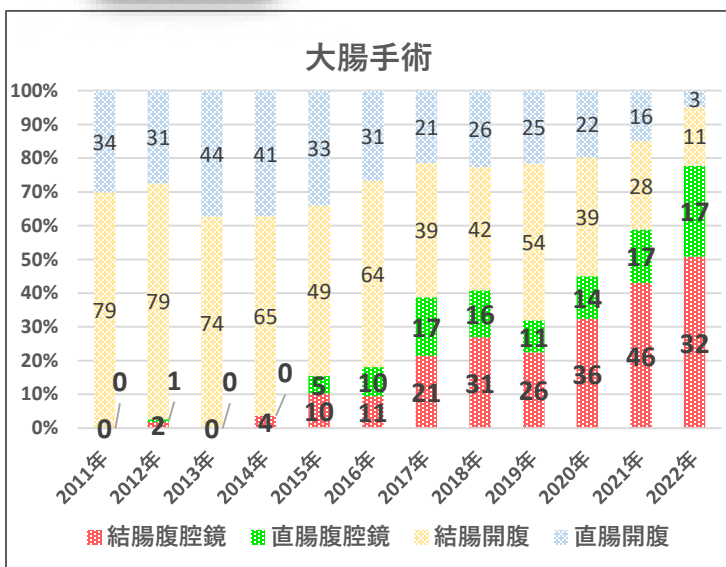


下部消化管診療は 主に私たちが担当しています

加藤は2022年4月に青森県立中央病院から赴任となりました。前任地では大腸癌に対する腹腔鏡手術、特に直腸癌、肛門機能温存に注力し、また直腸癌に対するロボット支援手術の導入を行いました。



神は2017年4月に赴任し、市民病院ではまだ症例数の少なかった腹腔鏡下大腸癌手術の標準治療化に努めてまいりました。



また、進行大腸癌による腸閉塞の治療としては、従来は腸管の前処置がなされていなかったため、原発巣の切除と口側腸管挙上による人工肛門造設が行われていました。一度人工肛門とすると再吻合は行われず、生涯人工肛門である場合がほとんどでした。現在当科では消化器内科と協力し、閉塞部に対してステント拡張を行い腸管の前処置を行った上で、全大腸内視鏡検査を行い多発癌のないことを確認したのちに、原発巣切除、吻合再建を一期的に行っています。